

横濱プロバス倶楽部

2019 年 9 月 13 日第 208 回例会特別放談 久野修慈先生

我が人生の軌跡 人生は出会いのドラマ

参考資料 **仕事人秘録**「塩水港精糖会長久野修慈」

日本経済新聞

2005 年 11 月 22 日より連載開始

2006 年 1 月 19 日まで 22 回の連載された

略歴：ひさの しゅうじ

1958 年 中央大学 法学部卒業

1963 年 大洋漁業入社

1983 年 取締役

1987 年 専務

1986 年～1090 年 横浜大洋ホエールズ（現横浜ベイスターズ）球団社長を兼務

1990 年 塩水港精糖社長

2005 年 会長

1999 年 精糖工業会会長

塩水港精糖は明治 37 年台湾で後藤新平の音頭により発足、戦後昭和 25 年新たに日本で塩水港精糖としての産声を上げた。久野氏の社長就任以来、次々と改革、パールエースのブランド化、オリゴ糖の商品開発、横浜での生産拠点の集約化など砂糖業界のけん引力として大きく貢献してきた。“現場の声を聴く”というのがモットー。大洋漁業の中部謙吉社長と同社顧問の白洲次郎氏に薫陶を受けたことが幸せであった。